

大阪マラソンで270回目完走達成しました! 今年1年間ありがとうございました。



フルマラソン完走 現在270回!

新! 走り続ける文具屋さん



消しゴム
1個から
お届けします。

H30/12月号 No.113

商品とともに『愛情』と『情報』を添えてお届けします!



裏も
ご覧
下さい

官浪の『チョツとお邪魔します』

中華料理「平和樓」さん



阪神屋敷の駅前にある創業70年を誇る老舗の中華料理店。2代目の店主は、大学の同期生である中條一則さん。大学卒業後、梅田の「青冥」で修行を積んだのち、この店を受け継がれました。街の中華屋さんの佇まいですが、一度食べたらくせになる”ホツとする”優しい味付けの中華料理が堪能できます。牛ひき肉と豆腐の旨煮「麻婆豆腐(760円)」は、ほどよい辛さでおススメです。ピリ辛のプリプリ「エビのチリソース(760円)、トロっとした絶妙のあんかけが決め手の「八宝菜(680円)」も美味しいです。セットメニューでは、定番のミニ焼きめし・ミニラーメンの「焼めしセット(890円)」が人気あります。定食としては、肉・レバー・エビ・イカ・ニラ入り野菜炒めにライス、スープ、つけものが付いた「スタミナ定食(1,000円)」は元気モリモリになります。トロ味がたまらなく美味しい「尼崎チャンポン」も是非味わってほしいメニューです。一度美味しい中華料理を食べに足を運んでみてください。

【お店データ】

店名：中華料理「平和樓」
住所：尼崎市竹谷町1-21
TEL：06-6411-3908
営業時間：11:30~23:30
定休日：金曜日



【取扱品目】

- 一般文具・事務用品・各種オフィス家具
- OA機器およびOAサプライズ
- 教科書、教材、学校設備具
- ゴム印、印判、各種印刷
- 記念品、粗品等のギフト用品
- 名札、プレート等別注品

今月のオススメ商品情報!

KUTSUWA

テレビ東京 WBSの

「トしたま」で紹介されました!

消しゴムくずがキレイに集まる。

これで、イライラも解消!

磁石がミソの『磁ケシ』



スツと集まる!

捨てる時は
ワンタッチ!

- ①フェライト(鉄粉)入の消しゴムで消しクズが磁石で集められます。
- ②ケースの底にネオジム磁石が内蔵してあり、消しクズを集め、ワンタッチでゴミ箱に捨てられます。

【価格】280円(税別)

☆ 通販にはない『顔が見えるサービス』を提供します!

新! 走り続ける文具屋さん

(官浪伸次)

走り続ける文具屋

検索

官浪 直通 090(1240)8438

E-mail kan0024kn@bca.bai.ne.jp

〒660-0861 尼崎市御園町40番地

株式会社 本田盛文堂 尼崎

TEL: 06-6412-1547 FAX: 06-6413-9763

官浪の『文房具雑学』 ～筆箱編～

昔の筆箱、思い出しませんか？

筆箱とは鉛筆、シャープペン、消しゴム、定規などを入れるもので、「筆入れ」や「ペンケース」とも称されます。この筆箱は、鉛筆とともに普及し、大正時代～昭和初期はセルロイド製やブリキ製のものが多く、昭和30年代にはプラスチック製の筆入れが主体でした。しかし、プラスチック製は耐久性に劣り、落としたり踏むと簡単に割れるという難点がありました。そこで誕生したのが、「象が踏んでも壊れない！」というインパクトのあるCMで大ヒットした『アーム筆入れ』。昭和30～40年代に小学生だった方々には、懐かしい文房具でしょうね。この「アーム筆入れ」は改良され現在も「NEW アーム筆入れ」として販売されています。昭和50年代になると、ビニール製のキャラクターがプリントされた箱型筆入れが流行になりました。大量の筆記具や文房具が仕切られて収納でき、50年代後半には10層近くまで細かく仕切られたものも登場しました。こういった多面性筆箱とともに「ダイヤルロック付き筆箱」もブームになりました。昭和50年代後半には、キャラクターやアイドルものの「カンペン」が大流行。小中学生の定番文具となりました。平成に入ると、多機能筆箱が登場し、開くと鉛筆が持ち上がり、消しゴムと鉛筆削りが飛び出すという、派手なアクション感覚のものが主流となり、何となくバブル期にぴったりの文具だったのかもしれないですね。最近は、“キャラクターものはNG”や“片開きの筆箱にするように”などのルールがある学校も多いようです。したがって、シンプルで実用性の高いものが好まれています。筆箱は学生の必需品でしたが、社会人からも注目を集めたのが2006年に発売されたコクヨの「ネオクリッツ」です。筆記具の多様化に伴って、大容量の筆記具やその他の文房具も収納でき、机上で立てるとペンスタンドになる構造がヒット商品の要因です。布製で外観がポーチに見えるサンスター文具の「デルデ ペンポーチ」やトレーにもなるペンケースコクヨの「with+」も登場。また、2016年リヒトラブから発売の、シリコン素材のスタンドペンケース「ブニラボ」は可愛いアニマル型で人気を呼んでいます。今後の展開が楽しみです！



多機能筆箱



筆入れアーム



カンペン



ネオクリッツ



ブニラボ

【本田盛文堂尼崎のFBページも絶好調！】
是非、いいね
して下さい！



走り続ける文具ソムリエ官浪伸次による、
文房具紹介動画「ぶんぐの森」を配信中。
PC、スマホからYouTubeの
「ぶんぐの森」で検索して下さい。

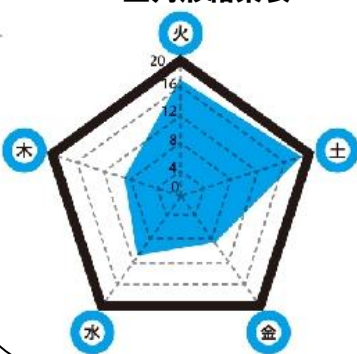


11/10(土)に第24回文具塾 開催しました！

今回は、12名の方々に参加していただきました。ボールペン・フェルトペン・蛍光ペン・修正具・スティックのりなどの仕組みについて解説させていただきました。山田茶園の山田さんの緑茶講座もとても楽しく学ばせていただくことができました。



ライフカラーチェック 五角形結果表



～第109回 人の心のカタチ～

(株)スティ・コンサルティング 代表取締役 依岡 聡

今年も1年間ありがとうございました。このコーナーのおかげで新しい出会いをもらうことができました。
来年から『人の心のカタチ』についてお話をさせていただこうと思います。左の図は、心のカタチを示すものです。これの前段階として50の質問にお答えいただき、その結果を五角形に表します。いわゆる『心のレントゲン』です。コミュニケーションを取るのが苦手とおっしゃる方の傾向は『人には様々な心のカタチがある』ということを認識できていないと考えます。皆さまの少しでもお役に立てばと思います。